

「未来高岡」総合戦略～「文化創造都市高岡」共創プロジェクト～の概要

日本の人口は、2008 年をピークに減少しています。地方では、人口の減少が契機となり「地域経済が縮小し、そのことがさらに人口減少を加速させる」と言われています。

高岡市は、1988 年をピークに人口が減少傾向にあり、このままでは地域経済の縮小や人手不足を引き起こすだけでなく、高齢化も相まって地域社会の様々な基盤の維持が難しくなる恐れがあります。

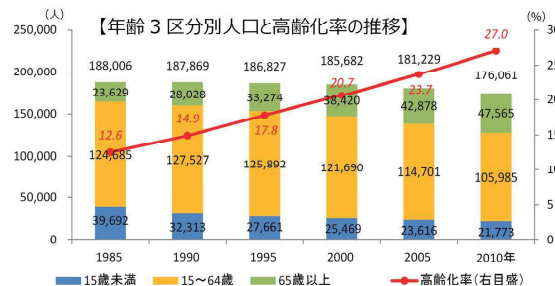
「未来高岡」総合戦略は、人口の減少を克服し、地域経済の活性化を図るとともに、市民が安心して快適に暮らせる地域社会の維持に向け、本市における「地方創生」のあり方、道筋を示すものです。

高岡市人口ビジョンの概要

「高岡市人口ビジョン」は、本市の人口の現状を分析し、人口減少の要因を探ることによって、その克服のための目指すべき将来の方向や人口の将来展望を示すものです。

人口の現状

- 高岡市の人口は 1988 年の 188,782 人をピークに減少傾向が続いており、このままでは **2060 年には 92,000 人**にまで減少するとされています
- 2010 年の国勢調査結果では、65 歳以上の人の割合が 27%と 15 歳未満の人の割合を大きく上回っています



【人口動態の推移】



- 出生数と死亡数による自然増減、転入数と転出数による社会増減は、ともにマイナス傾向が続く、人口が減少していることがわかります
- 転出入では、15～29 歳の若世代で進学・就職のために転出する人が多く、また、住宅購入などのため転出する子育て世代には、年少者の転出を伴います

人口減少が地域に与える影響

- 働き手の減少により、経済産業活動の担い手が不足し、経済の活力が低下すると考えられます
- 小売業の販売額が減少し、地域の商業機能が大幅に失われる可能性があります
- 医療や生活関連の施設等も減少し、地域の活力だけでなくまちの暮らしやすさも低下することが懸念されます

人口減少への対応

人口減少の影響を最小限にとどめるため、

- ◇若者の定住を促進します
- ◇若者が安心して働き、子どもを産み育てられる地域社会を実現します
- ◇人口減少に対応可能な地域をつります



人口の現状から見える課題やアンケート調査の結果を踏まえ、人口の減少に対して上記のような対応を図ることにより、次のとおり将来の人口を展望し、様々な施策に取り組むことで、目標人口の達成を目指します。

人口の将来展望

●目標人口は、2060 年に 125,000 人

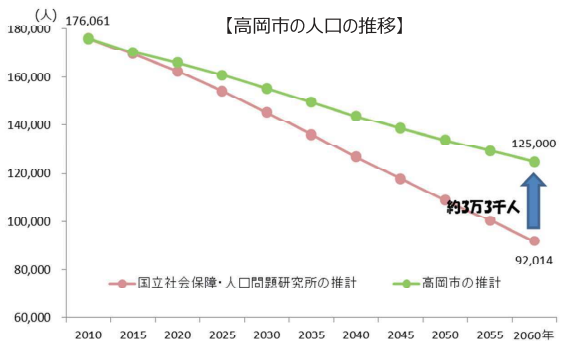
- ・出生率が 2030 年に 1.9、2040 年に 2.07 となる（現在 1.4 程度）
- ・流出を段階的に縮小し、2020 年には転出数と転入数が均衡する。更に政策努力によって転入増を実現

〈出生率〉

- 1.9・・・富山県民の希望出生率（富山県算出）
- 2.07・・・人口を維持できるとされる出生率



【高岡市の人口の推移】



アンケート調査結果

市民、市内の高校生、県内の大学生、市内および県西部の企業の皆様からご意見、ご回答をいただき、高岡市の今後の方向性を検討いたしました。おもな結果をご紹介します。

市民アンケート

- 高岡市は住みよいですか？
 - 住みよい・どちらかというと住みよい 77%
 - 住みにくい・どちらかというと住みにくい 15%
- 人口減少に対応していくために必要な取り組み
 - 1 位 子育て支援や仕事と子育ての両立促進 51%
 - 2 位 まちなか居住や若者など多様な人材の定住促進 48%
- 高岡市が若者に選ばれるために重要なこと
 - 1 位 若者が求める仕事 68%
 - 2 位 良好な住宅や魅力的な子育て環境 57%

高校生アンケート

- 進学希望者の希望進学地
 - 1 位 東京・大阪・名古屋などの大都市圏 34%
 - 2 位 富山県内 23%
- 就職希望者の希望就職地
 - 1 位 富山県西部 34%
 - 2 位 わからない 30%
 - 3 位 東京・大阪・名古屋などの大都市圏 17%
- 就職先を選ぶ際に重視する点
 - 1 位 安定しているところ 65%
 - 2 位 自分の能力・専門を活かせるところ 45%

大学生アンケート

- 卒業後就職を希望する場所
 - 1 位 富山県内 34%
 - 2 位 自分の出身地（富山県以外） 30%
 - 3 位 東京・大阪・名古屋などの大都市圏 13%
- 就職先を選ぶ際に重視する点
 - 1 位 適正に合った仕事・仕事のやりがい 64%
 - 2 位 就職先の安定性 44%
- 女性の理想とする生き方
 - 1 位 結婚し子どもを持つが、仕事も続ける 37%
 - 2 位 出産の機会にいったん退職し、子育て後再び仕事を持つ 32%

企業アンケート

- 高岡市の産業全体の活性化に必要な方策
 - 1 位 U・I ターンの促進 34%
 - 2 位 新たな企業誘致の推進 33%
 - 3 位 次代を担う若手産業人材の育成 33%
- 経営・運営上の課題
 - 1 位 人材・人員の不足 56%
 - 2 位 調達・仕入れコストの上昇 35%
 - 3 位 市場ニーズの変化・多様化への対応 29%

「高岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

「高岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、2015 年度からの 5 年間における市のまち・ひと・しごとの創生の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

＜しごとの創生＞

- ・ものづくりなどの強みを活かした魅力的なしごとづくり
- ・地域経済循環構造の再構築

＜ひとの創生＞

- ・若者が住みやすく、子育てしやすい環境づくり
- ・若者や女性が力を発揮しやすい地域社会の形成
- ・高岡の未来を担う人材の育成と確保

＜まちの創生＞

- ・市民が安心して快適な生活を送ることができる地域の実現
- ・新たな価値や発想、文化を生み出しやすいまちづくり

基本目標① 『魅力的なしごとで挑戦できるまちをつくる』

数値目標

創業件数：2019 年度までに 600 件
(2014 年度 115 件)
観光客入込数：2020 年までに年間 450 万人
(2014 年 347 万人)

基本的方向

- ・地域産業の競争力強化
- ・ものづくりの魅力を発信による販路の拡大
- ・戦略的な企業立地の推進による産業集積の促進
- ・創業支援による新事業の創出と起業の促進
- ・魅力的な観光地域づくりと広域観光の推進

具体的施策

- ① 地場・伝統産業の活性化モデルの構築
- ② ものづくりの技術等を活かした新分野・新事業の展開支援
- ③ 地域資源を活かした農業の競争力強化
- ④ 地場・伝統産業のマーケティング強化
- ⑤ 海外への販路の拡大
- ⑥ ものづくりブランドの知名度向上
- ⑦ 企業団地の整備
- ⑧ 企業誘致・立地の促進
- ⑨ 創業のシーズ発掘強化と創業者の事業段階に応じた支援
- ⑩ 観光地の魅力向上に向けた開業の支援
- ⑪ 広域観光の推進
- ⑫ 観光地の魅力の向上と発信
- ⑬ MICE（コンベンション等）及びインバウンドの誘致促進
- ⑭ 観光関連産業の活性化

基本目標③ 『安心して子どもを産み育てられるまちをつくる』

数値目標

「この地域で子育てしたい」と思う親の割合：増加
10 歳未満の子どもの数：2020 年までに 2015 年+100 人（2010 年 13,724 人）

基本的方向

- ・しごとと子育ての両立の推進
- ・地域で子育てを家庭を支える社会の形成
- ・安心して子育てができるサービスの充実
- ・地域の文化に誇りと愛着を持つ子どもの育成

具体的施策

- ① ワーク・ライフ・バランスの推進
- ② 女性の就労・社会復帰支援
- ③ 母子・父子家庭の経済的自立の支援
- ④ 子育て支援の場の拡大
- ⑤ 多様な保育サービスの展開
- ⑥ 子育てに係る経済的負担の軽減
- ⑦ 結婚から出産までのきめ細やかな子育て支援
- ⑧ 子ども空間、保育環境の向上
- ⑨ 子育て支援情報の発信
- ⑩ イクメンプロジェクトの推進
- ⑪ 地域文化を活かした独自教育の推進

基本目標② 『多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる』

数値目標

2020 年までに転入・転出を均衡
(2010 年から 2014 年の 5 年間における
年平均社会減 170 人)

基本的方向

- ・若者、女性など多様なひとの定住の促進
- ・大学生のまちづくりへの参画と定着の促進
- ・まちなかにおける安全・安心な生活環境の整備と居住の促進

具体的施策

- ① 良好な住宅・宅地の提供
- ② 住みよい魅力の P R、受け入れ環境の整備による移住の推進
- ③ 地元就職・Uターン就職の推進
- ④ 空き家対策の推進
- ⑤ 都市・農山村交流を通じた移住の推進
- ⑥ 大学生のまちづくりへの参画の促進
- ⑦ 地元で定着する大学生へのインセンティブの付与
- ⑧ まちなか居住の推進
- ⑨ まちなか再構築の推進

プラス 文化力

基本目標④ 『快適に暮らせ、創造的に活動できるまちをつくる』

数値目標

中心市街地居住人口：2020 年に 14,454 人（2011 年 16,360 人）
公共交通人口カバー率：2019 年度に 81.4%（2013 年度 79.1%）
クリエイターの増加人数：2019 年度までに 50 人増加

基本的方向

- ・コンパクト・アンド・ネットワークの推進による快適な生活と持続可能な都市経営の確保
- ・広域連携による活力ある経済・生活圏の形成
- ・「創造の場」の形成による創造的な活動の活性化

具体的施策

- ① 中心市街地、中心商店街の活性化、消費の拡大
- ② 市街地間交通ネットワークの連携強化による「多極ネットワーク型」の都市づくり
- ③ 地域連携による経済・生活圏の形成
- ④ 「創造の場」づくりの推進
- ⑤ 新たな芸術・文化の創造

伝統工芸産業再興1000年プロジェクト

- 再現・修復という新たな需要の取り込み ○技術の継承・発展、人材の活用・育成・確保
- 地場産業の競争力強化 ⇒ 産業活性化モデルの構築による地場産業再興の好循環の創出



創業チャレンジ応援プロジェクト

- 創業支援体制 ○サービス産業等の開業支援 ○創業者の側面的支援 ○活躍の場の創出
- ⇒ 創業の増加→雇用の受け皿の増加、地域産業の新陳代謝の活性化



世界に発信! 魅力ある観光地域づくりプロジェクト

- 観光 P R、誘客活動の強化 ○地域資源の活用による魅力的な観光地づくり
- 広域観光の推進、体制整備 ⇒ 交流人口の増加、観光関連産業の発展



高岡の未来を担う! 若者定着プロジェクト

- Uターン就職、市内定着の推進 ○良好な住まい、生活環境の提供
- ⇒ 10 代後半、20 代前半の若者の増加



8つの事業を横断する
キャリアプロジェクト

「サードエイジ」ヘッドハンティングプロジェクト

- 移住の促進 ○働く場づくり ○まちづくり等への参画促進 ○医療・福祉の充実、健康づくり支援
- ⇒ サードエイジ（中高年世代）の移住促進、地域産業に寄与する人材の確保



高岡ウーマノミクスプロジェクト

- 女性の活躍を促すしごとづくり○女性起業家の支援○女性がしごとと子育てを両立できる環境づくり
- ⇒ 女性の定住促進、女性の活躍による経済の活性化



未来を繋ぐ子育てファミリープロジェクト

- 結婚支援 ○イクメンプロジェクトの推進 ○多機能型保育の充実 ○子育て支援の場の拡大
- 地域文化を活かした独自教育の推進 ⇒ 10 歳未満の子どもの増加



「文化創造」から始まる地域活性化プロジェクト

- 「創造の場」の拠点の整備 ○新たな芸術・文化の創造 ○創造性、文化力の応用
- ⇒ 高岡の文化力の発信と交流、応用による地域の活性化

